

小学校における少人数学級実現のための町費負担臨時教諭の配置について

- 1 目的 町内の小学校の全ての学級で、少人数学級によるきめ細かな教育を実現する。
- 2 採用条件
 - (1) 小学校教諭又は中学校教諭の普通免許を有する人（平成30年3月31日までに取得見込みの者を含む）
 - (2) 将来、音更町又は十勝管内の学校で勤務する意欲のある人
- 3 臨時教諭採用人数

平成28年度 5人（音更小学校2人、木野東小学校2人、緑陽台小学校1人）
平成29年度 5人（音更小学校2人、木野東小学校3人）
平成30年度（予定） 9人（音更小学校3人、下音更小学校1人、木野東小学校4人、鈴蘭小学校1人）
- 4 小学校臨時教諭配置における成果（平成28年11月28日、29日調べ）
 - (1) 臨時教諭の配置により3年生が3学級編制（1学級27人～28人）とすることができ、一人ひとりに目を配りきめ細かな指導をすることができている。（音更小）
 - (2) 学年3人体制により、学年団での業務分担において、適材適所の担当ができるようになった。また、より多数の目による観察により、より多面的な児童理解ができるようになった。（音更小）
 - (3) 4年生は2学級編制のまま臨時教諭を学年付きとして運用したが、教科によっては3人体制によるTTや習熟度別指導が可能となり、低位の児童の指導に効果をあげている。（音更小）
 - (4) 教職員が2名増えたことにより、分掌の人員が増え学校全体の業務分担の軽減につながっている。（音更小）
 - (5) 教員免許状を持つ臨時教諭の配置により、学級担任と指導を分担協力しながら進めることができ、教員が子どもに向き合う時間が増えた。さらに、より手厚い個への指導も可能となった。また、教材研究などの時間もとれるようになり、指導の質の向上に役立っている。（木野東小）
 - (6) 正規採用教員を目指している臨時教諭の仕事に取り組む姿勢が、周りに良い影響を与えている。（木野東小）
 - (7) 1名配置されたことにより、6年生40名を2クラス編制にすることができた。そのため、担任がきめ細かく指導することができた。（緑陽台小）
 - (8) 中学校理科が専門なので指導方法が確立されていた（理科専科（4～6年）、書写（5、6年）を担当）。子どもたちも興味・関心をもって授業に取り組むことができた。（緑陽台小）

少人数学級(35人以下学級)の経緯

	音更町	北海道			国
H16		小1			
H17		小1	小2		
H18		小1	小2	中1	
H19		小1	小2	中1	
H20		小1	小2	中1	
H21		小1	小2	中1	
H22		小1	小2	中1	
H23			小2	中1	小1
H24			小2	中1	小1
H25			小2	中1	小1
H26			小2	中1	小1
H27			小2	中1	小1
H28	小3～小6		小2	中1	小1
H29	小3～小6		小2	中1	小1